

正しく動き、美しくつながり、強く創り出す「未来を生き抜く力」を育成する学校



「たい」のあふれる時津小



↑こちらからも↑

令和6年 3月14日(木) 発行人：校長 森内 秀学

「おめでとう」「ありがとう」

誕生、合格、結婚など、大事な節目で聞く言葉、「おめでとう」。3月18日(月)の卒業式に向けて、校内は「おめでとう」の言葉であふれています。



12日(火)は予行練習でした。証書授与の練習の際、私は一人一人に「おめでとう」と言いながら渡しました。子どもたちは、とても緊張していました。証書を受け渡す動きは決まっていますので、渡した子どもから言葉が返って

くることは想定していませんでした。

ところが、時々、にっこりしながら小さな声で「ありがとうございます」と返す子どもがいるのです。私は、うれしいなあと思いました。そして、その子はきっと「決まり」というものを超えて、人として、「おめでとう」への「ありがとう」をつぶやいたのではないかと思いました。



卒業式本番でも、壇上で受け渡しの場面があります。BGMが流れているので、もし、私と子どもが言葉を交わしても、きっと聞こえないでしょう。御臨席くださる皆様は、私や子どもの表情を見ながら、どんなやりとりをしているのか、温かくご想像ください。

大型モニター入りました～ありがとう！時津町教育委員会～

時津町教育委員会にお願いしていた大型のモニターがこのほど入りました(右写真)。65インチ。超大型です。授業参観の案内表示や来賓のウェルカムボード、そして集会の時の映像提示や体育の授業で動きの確認をする場面などで活用しようと考えています。

まずは、このタイミングに間に合わせていただきましたので、卒業式の受付のところに置いて、保護者の方やご来賓の方をお迎えしたいと思います。

